

原発依存・推進やめよ

世界平和アピール七人委

日本の文化人や学者

でつくる「世界平和ア
ピール七人委員会」は
9日「これでも原発推
進を続けるのか」と訴
える声明を発表しまし

た。

声明は、節電や再生
可能エネルギーの普及
によって電力が余る時
代に、日本は、再エネ
の普及拡大を犠牲にし

て高価な原発を優先す

る「出力制御」をしてい
ると批判しています。
いまだに廃炉の見通
しの立たない東京電力
福島第一原発や、破綻

した核燃料サイクルに
固執した日本原燃の六
ヶ所再処理工場の計画
継続に触れた上で、今
年の能登半島地震で北
陸電力志賀原発の放射
能漏れ事故がもし起き
ていれば、「30キロ圏内
に住む15万人の住民の
多くが逃げられなかっ
ただろう」と指摘。こ
れでも原発依存・推進
を続けるのであれば、

再エネの開発・利用で
諸外国との差はますます
拡大し解消できなく
なると述べ、原発の再
稼働、新增設や運転延
期の政策は「直ちに撤
回すべき」と主張し
ています。
同委員会のメンバー
は、大石芳野、小沼通
二、池内了、池辺晋一
郎、高村薫、島園進、
酒井啓子の各氏。